



No. 33号
平成24年1月発行



年頭のご挨拶

会長 梅田耕之助

新年あけましておめでとうございます。市民の皆さまにおかれましては、平成24年の新春を健やかに迎えのことと心よりお慶び申し上げます。旧年中は、本会に対しまして格別のご支援とご協力を賜り、役職員一同、衷心より厚くお礼申し上げます。

昨年は、東日本大震災をはじめ、全国各地で大規模な自然災害が頻発し、甚大な被害をもたらし、改めて地域住民による日頃からの支え合いや見守り活動等、人と人をつなぐ「絆」の大切さや、ボランティア活動の重要性が認識されました。高齢化や過疎化が進む中、より一層行政の支援はもとより、市民の皆さまと本会構成団体の方々とお互いが手を携え、市民が主体的に参加する福祉のまちづくりを進めなければなりません。そのための実践計画である第1次地域福祉活動計画も残り1年となりました。市民の暮らしや生活環境がますます複雑多様化する中で、お互いを尊び合い、支え合い、「住んで良かった」と、みんなでいえる福祉のまちづくりの実現に向け、本年も引き続き全力で取り組みますので、皆さまの温かいお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びにあたり、皆さまのご健康とご多幸を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

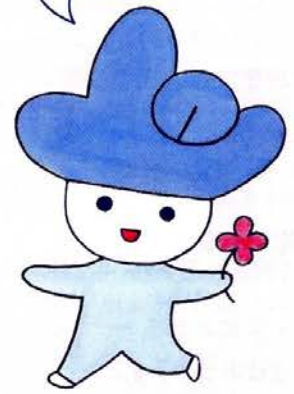


災害に強いまちづくり

10月30日、郷地区連合区々長会・郷地区福祉委員会協議会・網野町民生児童委員協議会郷地区協議会が、郷地区連合区内全区民を対象に、災害や非常時に対する意識を高め、いざと言う時に互いに助け合える地域をつくるために研修会を開催されました。

はじめまして!

あいたんです。これから、いろいろな場面で登場します。どうぞ、よろしくお祈いします。



京丹後市社会福祉協議会のマスコットキャラクターの愛称を募集したところ、55作品が寄せられました。選考委員会で審査した結果、大宮町在住の永浜治夫さん、愛知県名古屋市の小寺光雄さんの作品「あいたん」に決定しました。温かい“愛”の心、手話で表す頭の形“アイ”ラブユーと京“丹”後を掛けた愛称です。

参加者の声

研修その1

非常備蓄食品「アルファー米」を使って五目ごはんを作りました。お湯で戻しただけなのにおいしくて、具材の歯ごたえもありました。



研修その2

参加者が持参された非常用持ち出し袋の中身を出して比べてみました。必要なものは、年齢や性別で人それぞれ!何を入れたらいいかわからないという声もあり、京丹後市ボランティア連絡会網野支部が作成した「非常時持ち出し品リスト」を配布しました。

- 向こう三軒両隣。当然知ってるだろうけど、最近結婚した隣の若嫁さんは僕のこと覚えてくれるかな?
- アルファー米は、子どもや料理が苦手なかたでも水を注ぐだけでおいしく作れるね。



京丹後市 社会福祉大会 を開催

一人ひとりが住みなれた地域で安心して暮らせる地域づくりを進めます

地域福祉の発展と市民一人ひとりが地域で安心して暮らすことのできるまちづくりをめざし、11月19日に第2回京丹後市社会福祉大会を峰山総合福祉センターで開催し、約160人が地域福祉に対する思いを共にしました。

● 第1部 表彰式典 ●

地域福祉における市民の皆さまそれぞれの役割について確認・連携を深め、これまで地域福祉の推進に対し、さまざまな活動を通して貢献された皆さまに表彰状及び感謝状を贈り、社協会長表彰を受けられた幾田章宏様から表彰者を代表して「この喜びを胸に、一層努力していく覚悟であります」と謝辞が述べられました。

式典の最後には、「支えあい 助け合い ふれあいのまち」、「一人ひとりが役割を発揮し、生き生きと輝き、共に住んでよかったといえるまち」の実現に向けた本大会の意義を確認する「大会決議」を採択し、関係者が一丸となって「すべての人が安心して暮らせる地域づくり」に向けて取り組むことを確認しました。

京丹後市功績者表彰 (順不同・敬称略)

「京丹後市功績者」

<民生委員・児童委員>

荒川美千子 岡田安史 坂本登美恵 大同教照 満尻俊幸
川戸剛 安達栄子 磯田英男 長尾昌子

<社会福祉団体役員>

上田忠男 (京都府視覚障害者協会京丹後支部) 矢野幸子 (大宮町障害児者を守る会)

<福祉ボランティア団体役員>

廣野昭美 (北村会)



京丹後市社会福祉協議会会長表彰 (順不同・敬称略)

「社会福祉事業特別功労者」

<社会福祉協議会役員等>

野村弘志	杉本香代子	内田勤	梅田豊子	羽賀郁子	柿本次郎	田中暹
幾田章宏	赤岩邦子	伊藤紀久代	井藤さか糸	稲垣友二	稲穂三和子	奥田久子
金安義孝	澤田節子	清水美代子	上古美夫	徳田新	西垣恵子	早川邦生
平井紀子	松田喜美子	松本政子	宮本松則	山本憲男	行待秀子	渡邊幸子
高橋よ祢	橋滋子	三谷静代	安田延晴	尾江敏孝	志水洋子	濱岡永一
吉岡光恵	山中貞一	倉野隆司				

<民生委員・児童委員>

小笠原弥生	竹ノ内義明	田中定之	藤原昭子	増田明子	岡田康二	関谷道一
中西ゆり子	平井良和	堀嘉則	文珠清道	山崎喜代枝	吉岡秀子	蒲田均
廣瀬浄	伊藤修一	田中壽美	森野英輔	小村みゆき	瀬尾求	長砂廣一郎
野村多壽子	吉谷智子					

<福祉推進組織>

第1区福祉委員会	9区ふれあい推進委員会	17区福祉委員会	二箇福祉委員会	五箇福祉委員会
内記ふれあいサロン	上常吉地区社協	三重地区社協福祉会	森本福祉委員会	砂方ふれあいの会
岩木区福祉委員会	堤福祉委員会	溝谷福祉委員会	外村福祉委員会	

<福祉ボランティア>

オリーブの会
退教互「たんごシワクチャーズ」
峰小学校安全ボランティアの会
Mineyama Highschool Volunteer
大宮第二小学校区の子どもの会
網野あそびの城
京丹後市食生活改善推進員協議会網野支部
花ネット丹後
久美浜町邦楽同好会
中 文代

京丹後市食生活改善推進員協議会峰山支部
なかよしグループ
峰山町婦人会連絡協議会
峰山よさこい連
朗読ボランティア手をつなごう
あみのシルク
配食折り紙サークル
京丹後市食生活改善推進員協議会久美浜支部
日本ボーイスカウト京都連盟竹野第1団



「社会福祉事業特別功労者」

<継続寄付者>

株式会社ベルマリエ 全性寺 大宮町グラウンドゴルフ協会 北村福夫

● 第2部 記念講演 ●



「みんな同じ人間だもの～人の痛みがわかる人間になろう」と題して、天台宗総本山比叡山延暦寺僧侶の藤井妙法(みょうほう)氏の講演を行いました。

貧しい幼少時代を過ごし、荒れた高校時代や多様な思想遍歴を経たからこそ、現在の自分がある。「人は何のために生まれてきたのか?」確かな目標を持った人は強く生きていけるというお話をされ、自分の幼少時代と同じ境遇にある子どもたちへの奨学援助を目標として活動していると目を輝かせておられました。

第2部オープニング



退教互「たんごシワクチャーズ」合唱

北は青森、南は福岡まで、5才のお子様の作品を含めて58作品が寄せられました。その中から受賞おめでとうございます。

京丹後市社協マスコットキャラクター発表



受賞を大変喜んでおります。デザインした頭の部分は、手話の指文字で「LOVE YOU」を表しています。また、丹後の美しい山や海の色を緑や青で表現しました。

採用作品に選ばれた峰山町の中西美穂子様

在宅福祉助成事業移送サービスカー贈呈



トレッチャーを搭載することも可能です。

福祉有償運送事業の利用者には欠かせない送迎車両として、福祉サービスのより一層の充実を図ります。ありがとうございました。

贈呈式で、中外製薬(株)京都支店の五十嵐様から梅田社協会長へ福祉車両のレプリカキーが手渡され、「弊社が寄贈するこの車両を含めて累計188台となり、在宅福祉医療サービスカーの寄贈をはじめて27年目となります。福祉車両の有効活用と、京丹後市の地域社会のつながり、人と人とのつながりがより深まることを心から祈っています。」と挨拶されました。

寄贈されましたワゴンタイプのリフトアップ車両は、車イス2台もしくは、ス



善意の寄附



丹後中央ライオンズクラブ様

尊いご寄附をありがとうございました。厚くお礼申し上げます。
(平成23年11月1日~12月31日受付分)

【供養として】

- 本城 寛徳 様(大宮町谷内) 50,000円
亡父 聞一郎様
- 上田 常男 様(大宮町五十河) 100,000円
亡母 様
- 井上 昌彦 様(網野町木津) 100,000円
亡父 昌一様
- 小石原康夫 様(網野町新庄) 100,000円
亡母 百合子様
- 匿名 様(網野町) 100,000円
亡父 様
- 吉岡 隆則 様(弥栄町木橋) 100,000円
亡母 倭文子様

- 今井 一 様(弥栄町黒部) 200,000円
亡父 利一様
- 匿名 様(弥栄町) 50,000円
亡母 様
- 中村 花枝 様(久美浜町) 15,000円
亡長男 嘉明様
- 匿名 様(久美浜町) 30,000円
亡父 様

【地域福祉事業へ】

丹後中央ライオンズクラブ
会長 巽 昭 様 100,000円

【福祉資金として】

- 北村 福夫 様(峰山町荒山) 30,000円
- 株式会社ベルマリエ 様(峰山町菅)
6,000円(通算65回目)
- 蛭子 智子 様(網野町木津) 3,000円
(通算407回目)

【車椅子借用のお礼として】

匿名 様(峰山町) 10,000円

【ホールインワン基金を寄附】

丹後町グラウンドゴルフ協会 様 10,000円

【つり銭の一部を寄附】

小市郎商店お客様(丹後町間人) 4,495円

歳末たすけあい運動

ありがとう
あたたかい気持ち



新たな年を迎える時期に、支援を必要とする人たちが、地域で安心して暮らせることができるよう「みんなでささえあうあったかい地域づくり」を合い言葉に歳末たすけあい運動を実施し、7,791,940円(12月末現在)の募金が集まりました。本運動推進にご理解とご協力に、心から厚くお礼申し上げます。

皆さまからいただいた募金は、民生児童委員さんを通じて市内にお住まいのかた420世帯(要生活支援世帯)に善意の気持ちをお届けしました。

京丹後市ボランティア連絡会分野別研修交流会

~楽しいボランティアってなあに~

12月3日(土)、京丹後市峰山地域公民館で53名が参加し、京丹後市ボランティア連絡会主催の「ボランティア分野別研修交流会」を実施しました。

京都左京区モラロジー事務所代表奥村氏を講師に迎え、「ボランティアって楽しいな」をテーマに、ボランティアとしてのマナーや心がけ、活動を続ける秘訣など講演いただき、その後、「障害者支援」「子ども支援」「高齢者支援」「演芸活動」に分かれて、活動の情報交換やボランティアを始めたきっかけ、活動の中で喜びと感じていることを発表し交流会を行いました。



参加者からの声をご紹介します!

- ボランティアについて再確認ができました。
- お互いさま、助け合いの気持ちを共有しボランティアしましょ。
- 交流会では、他のいろいろな活動を知ることができました。
- ボランティア活動は、仕事では得られない喜びあるんだね。



職員の採用・退職

- 採用 1月1日付
- 退職 12月31日付

- 【網野支所】 大下ふみ子 (看護師)
- 【網野支所】 村上奈緒美 (看護師)
- 【ふくじゅ】 麻生雄太郎 (作業療法士)